

Kure College		Year	2024		Course Title	Interior Design and Planning	
Course Information							
Course Code	0122			Course Category	Specialized / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2		
Department	Architecture and Structural Engineering			Student Grade	5th		
Term	Second Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	橋口新一郎『実践につながるインテリアデザインの基本』学芸出版社、2018年						
Instructor	Ahn Sangmin						
Course Objectives							
<p>建築におけるインテリアは建築全般を意識することなく、特定の室内空間の視覚的な価値だけに焦点をあて、デザインする分野であるといえる。建築学を勉強していれば自然にインテリアの知識もある程度は身につくが、室内空間を構成するより細かい構成要素を意識することは少ない。本科目では、建築学のようなトップダウン的な設計ではなく、人の視野に入る空間から考えるボトムアップ的な設計方法を講義と演習によって学習する。この授業によって実務で求められる知識と表現技術を身につけることができる。</p>							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		住まいの役割を理解し、インテリアの歴史に関する知識を持つ。		住まいの役割を理解することができない。		インテリアの計画手法を理解する。	
評価項目2		インテリアの計画手法を理解することができない。		インテリアに関する法規や制度の知識を持つ。		インテリアに関する法規や制度の知識の習得ができない。	
評価項目3		室内透視図の迅速な描き方を習得し、簡単に室内空間が表現できる。		室内透視図の描き方を習得する。		室内透視図の描き方を習得することができない。	
評価項目4		インテリア空間を設計し、透視図等でプレゼンテーションできる。		インテリア空間を設計することができる。		インテリア空間を設計することができない。	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	本科目は、就職コースの特色を担う科目で、本科卒業後、設計事務所、内装会社などに就職する時に、できるだけ実践的に役に立つことを目的としている。本科目を担当する教員は建築設計事務所での実務経験を有する。本科目では、その経験に基づいた講義が行われる。						
Style	授業の前半は、インテリアデザインの基本知識習得を目標に講義型中心の授業を進める。後半は、建築設計図を参考にデザイン演習形式で授業を行う。インテリアの歴史を学ぶことで多様な文化を理解し、計画や演習科目を通して多様な人への配慮の方法を身につける。						
Notice	室内デザイン透視図は、図法の十分な理解度、作品の完成度。設計演習課題は、計画性、アイデア、完成度をもってそれぞれを評価基準とする。課題全てが提出されない場合は不可とする。成績評価の割合については、この科目シラバスの最下部にある「評価割合」の欄を参照すること。この欄にある「総合評価割合」の「合計」100%のうち60%以上達成すれば合格となる。						
Characteristics of Class / Division in Learning							
<input type="checkbox"/> Active Learning		<input type="checkbox"/> Aided by ICT		<input type="checkbox"/> Applicable to Remote Class		<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme	Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	インテリアデザインと住環境	インテリアコーディネーターの仕事			
		2nd	インテリアデザインの歴史（日本）	日本のインテリア歴史			
		3rd	インテリアデザインの歴史（西洋）	西洋のインテリア歴史			
		4th	インテリアコーディネーションの計画1	生活場面の構成手法1			
		5th	インテリアコーディネーションの計画2	生活場面の構成手法2			
		6th	インテリアエレメント	家具、造作部品、建具			
		7th	中間試験				
		8th	試験の解答、説明	人体工学による具体的な寸法の学習			
	4th Quarter	9th	インテリアデザインと室内空間活用の具体例	事例の紹介			
		10th	透視図とは。	1点透視図や2点、3点透視図等の差異など、透視図の意味と性質を理解し、インテリアデザインにおける図面表現とパースの役割を理解する。			
		11th	1点透視図の描き方の学習（演習）	1点透視図の描き方を覚える。			
		12th	2点透視図の描き方の学習（演習）	2点透視図補助道具（パーススピーディ）を利用して透視図を描く。			
		13th	室内デザインの演習	インテリアデザインの具体事例の紹介、エスキス			
		14th	室内デザインの演習	図面作成（平面図、4面の展開図）			
		15th	室内デザインの演習	図面作成（2点パース）			
		16th	図面の仕上げとプレゼンテーション（期末試験）	図面作成（2点パース、彩色等）及び提出			
Evaluation Method and Weight (%)							
	中間試験	第1課題	第2課題	小テスト・小課題	期末試験	Total	
Subtotal	40	10	20	10	20	100	
基礎的能力	20	5	10	10	0	45	
専門的能力	20	5	10	0	20	55	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	